

今月の
ひとこと

2016年に設立された明治大学株価指数研究所は、1787年に東京株式取引所が設立されて以来、今日に至る一環した株価指数の作成に着手してきました。三和教授の指導のもと、太田 達也君をリーダーとして多くの学生諸君の協力を得て、ここに1878年から1942年までの株価指数が完成しました。

米国などでは100年以上にわたる株価指数の作成・研究が行われており、そのような基礎的な研究により長期に投資をすることが株式投資の基本であるという考え方が広まったと言われます。私は常々なぜ日本では株式取引が行われていたにもかかわらず、戦前の一貫した株価指数が存在しないのかと疑問を感じていました。日本では株価指数の研究が戦後の歴史に限定されてしまっているのです。今回の研究成果はその壁を打ち破るものの一つであると考えます。

例えば、なぜ、株式取引所が設立された1878年当初、取引のほとんどが公債だったのか、日清・日露戦争の時の株式市場はどんな動きをしたのか、関東大震災のときはどうだったか、そして、昭和になり統制経済下での株式市場はどのような動きをしたのか……。本来、とても貴重なマーケットに関する情報が埋もれていたのです。今回の研究はそのような出来事に光を当てる重要な出来事です。10月17日に開催されるFIWAマンスリー・セミナーでの研究発表はその点で極めて大きな出来事だと思います。

+++++

FIWAからのお知らせ

+++++

◎10/22

FIWAサムライズでは金融庁 監督局 証券課 資産運用統括管理官 安野 淳氏をゲストにお迎えして「フィデューシャリー・デューティーの観点に立ったアドバイスとは何か」というご講演をいただきます。貴重な機会です。ぜひ、ご参加を！（詳細は下記）

FIWAマンスリー・セミナー（詳細は下記）

◎10/17

明治大学商学部教授 三和 裕美子氏、明治大学 商学研究 博士前期課程在籍・明治大学株価指数研究所研究員 太田 達也氏 「近現代日本の株価指数研究発表会」

◎11/21

築地本願寺総務長 安永 雄彦氏 「ビジネスマン僧侶にまなぶ常識を超えるマーケティング」

◎12/19

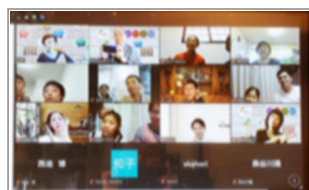
(株)リンクマネーコンサルティング 高橋 忠寛氏 「相談ビジネスの現状と将来性～アドバイザーの提供できる価値とは～」

+++++

FACEBOOK上で約3700人以上のクラブ・インベストライフの仲間が参加し、活発な議論をしています。投資未経験者の方の質問や疑問も大歓迎です。FACEBOOKに登録している方、ぜひ、ご参加ください。（FACEBOOKに継続的に投稿を行っている方に限定させていただきます）

FIWA®マンスリー・セミナー講演より ハッピー・マネー®教室
中高生のためのお金、仕事、投資、生き方

講演：岡本 和久 レポーター：赤堀 薫里



毎年、開催してきているハッピー・マネー®教室も9回目を迎えることができました。コロナ禍でオンライン開催でしたが、たくさんの方々にご参加いただき、また、中高生ということもあってZoomでの講演も何の抵抗もなかったようです。（このハッピー・マネー®教室の動画はみなさまに視聴料500円でご覧いただけます。ご希望の方は本文をご参照ください）

[読んでみる](#)

クラブ・インベストライフとは？

人生を通じての長期投資は孤独な長旅です。この長旅に耐え、大きな喜びを得るには、資産運用を行うための基礎となる知識と孤独な旅を支えあう仲間が必要です。「将来の自分はいまの自分が支える」ほかない時代、クラブ・インベストライフの活動は、豊かで幸せな人生のための投資を目指しています。

毎月、ネット上で会報誌を公開するほか、FACEBOOKやTwitter上で議論の場を提供し、各地でのセミナーを開催しています。

まったく投資の経験のない方も多数、参加しておられます。大手金融機関から完全に独立しているので、特定の商品をお勧めすることも販売することも一切ありません。

<FACEBOOK、TWITTERへの
投稿の際のお願い>

1. 個別商品の販売・推奨、あるいはそれに類する投稿はご遠慮ください
2. 発言はあくまで個人としてのものとしてください
3. 企業広告のご遠慮ください

I-Oウェルス・アドバイザーズ
のメール・マガジン

メルマガへのご登録は下記のメールアドレス宛に、空メールを送信下さい。購読は無料です。

mag@i-owa.com

毎月15日配信 無料

Facebook

Facebook上のグループ、
クラブインベストライフ
<http://www.facebook.com/groups/investlife/>

Facebookへの登録が必要で
す。リクエストボタンを押して
入会申し込みをしてください。

[Facebookへはこちらをクリック](#)

Twitter上のグループ
クラブインベストライフ
http://twitter.com/c_investlife

Twitterへの登録が必要です

 [@c_investlife](#)さんをフォロー

寄稿：岡本 和久

短い言葉が我々の思考形態を大きく変えたり刺激を与えたりしてくれることがよくあります。私にとってもそうでした。今回は私の50年にわたる証券人生、社会人人生で出会った癒しの言葉たちを紹介します。メンターと呼べる方々から教えていただいた言葉、そして、天から私の心に降ってきた言葉たちです。

[読んでみる](#)

- [2021年09月15日発行 Vol.225](#)
- [2021年08月16日発行 Vol.224](#)
- [2021年07月15日発行 Vol.223](#)
- [2021年06月15日発行 Vol.222](#)
- [2021年05月16日発行 Vol.221](#)
- [2021年04月15日発行 Vol.220](#)
- [2021年03月02日発行 Vol.219](#)

知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸



★JKローリングは生活保護を受けていた ★世界最古の会社、金剛組（1443年前に創業）
★雲外蒼天 ★青空の下の「下」は「した」か「もと」か？
★破天荒

[読んでみる](#)

ウェブ化以前のバックナンバー

2012年12月までに発行されたインベストラ이프をご購入いただけます。

[購入・詳細](#)

FIWA®代表理事リレー投稿 —映画で学ぶお金と投資の知恵— 『マネー・ショート華麗なる大逆転』を観て

寄稿：FIWA®協会 副理事長 原田 武嗣



先日、日本CFA協会の読書会 (CFA JAPAN BOOK CLUB)で、2015年制作のアメリカ映画『マネー・ショート華麗なる大逆転』を観て、そこで得た学びを参加者の中で意見交換する機会がありました。

[読んでみる](#)

「投資」への不安と期待とは（インベストラ이프・アーカイブより） 2009.01

ゲスト：田村 正之氏 編集委員：岡本 和久（司会）、澤上 篤人氏、菱川 精記氏、村山 甲三郎氏、島田 知保氏

「貯蓄から投資へ」の流れがようやく加速し始めたと思った矢先にサブプライム問題が起こり、その影響がじわじわと日本にもおよんできた。「100年に一度の金融危機」といわれている事態を、一般生活者はどう乗り越えたらよいのか。数々の取材をされてきた日本経済新聞社記者の田村氏にお話を伺った（この座談会は2008年12月11日に行われた）。

[読んでみる](#)

「岡本和久のお金と心チャンネル」より 「短期投資はなぜ儲からないのか」

寄稿 岡本 和久



YouTubeの「岡本和久のお金と心チャンネル」に四回連続で「短期投資はなぜ儲からないのか」について要点を整理しておきました。第一回 <https://youtu.be/YBBM7ysU1jI> メイン・テーマ：株価は影 第二回 <https://youtu.be/ouROJTHpePI> メイン・テーマ：短期投資はマイナスサム・ゲーム 第三回 <https://youtu.be/wAeBPnt1I-0> メイン・テーマ：今の株価は強気でも弱気でもない

[読んでみる](#)

参考データ・コーナー

基本ポートフォリオのパフォーマンス

データ提供：イボットソン・アソシエイツ・ジャパン／投信まとなび

9月は4資産成長型が0.03%、2資産成長型が-1.66%のパフォーマンスでした。世界各地のパフォーマンスは <https://www.ibbotson.co.jp/market/> でご覧いただけます。

[読んでみる](#)

投信データ・ウォッチ

データ提供：イボットソン・アソシエイツ・ジャパン／投信まとなび

今回は純資産上位ファンド（毎月および隔月決算型を除く）の運用状況をリストアップしていただきました。前月末時点でトップはグローバルESGハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)(Am-One)、2位がグローバル・プロスペクティブ・ファンド（日興AM）、3位がnetWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース(為替ヘッジなし)（ゴールドマン・S）でした。

[読んでみる](#)

I-OWAたより

岡本和久のI-OWA日記

[詳細はこちらをご覧ください。](#)

セミナー案内

2021/10/17 FIWAマンスリー・セミナー #193

開催形式 On Line

開催日時 10月17日 12:30~15:30

講演・講師

岡本 和久 「日本証券市場全史」

明治大学商学部教授 三和 裕美子氏、明治大学 商学研究 博士前期課程在籍・明治大学株価指数研究所研究員太田 達也氏「近代日本の株価指数発表会」

お申込み：<https://happymoney.stores.jp/> にて

10/22 第50回 FIWAサムライズ勉強会

開催地 On Line

開催日 10月22日(金) 開催時間 19:00~21:00

特別講演 「フィデューシャリー・デューティーの観点に立ったアドバイスとはなにか」

講師 金融庁 監督局 証券課 資産運用統括管理官 安野 淳氏

備考 主催：NPO法人みんなのお金のアドバイザー協会

お申込先：<https://somerise.net/2021/09/04/1286/> にて

2021/11/21 FIWAマンスリー・セミナー #194

開催形式 On Line

開催日時 11月21日 12:30~15:30

講演・講師

岡本 和久 「年金運用の変遷に学ぶ生活者の資産運用」

築地本願寺総務長 安永 雄彦氏 「ビジネスマン僧侶にまなぶ常識を超えるマーケティング」 お申込み：開催日約1か月前から

<https://happymoney.stores.jp/> にて

2021/12/19 FIWAマンスリー・セミナー #195

開催形式 On Line

開催日時 12月19日 12:30~15:30

講演・講師

岡本 和久 「KK時代のプロエイジングという生き方」

(株)リンクマネーコンサルティング 高橋 忠寛氏 「相談ビジネスの現状と将来性~アドバイザーの提供できる価値とは~」

お申込み：開催日約1か月前から <https://happymoney.stores.jp/> にて

2022/1/16 FIWAマンスリー・セミナー #196

開催形式 On Line

開催日時 1月16日 12:30~15:30

講演・講師

岡本 和久 「人生を通じてのお金との付き合い方、運用法」

ブーケドフルーレット 馬淵 治好氏 「2022 どうなる世界の経済・金融市場」

お申込み：開催日約1か月前から <https://happymoney.stores.jp/> にて

2022/2/20 FIWAマンスリー・セミナー #197

開催形式 On Line

開催日時 2月20日 12:30~15:30

講演・講師

岡本 和久 「シンプルなデキュミュレーションの考え方」

弁護士 坂本 有毅氏 「資産運用業務に関連する法制度の基礎」

お申込み：開催日約1か月前から <https://happymoney.stores.jp/> にて

(講演のテーマは仮案です)

[詳細はこちらをご覧ください。](#)

Page Top

[バックナンバー](#) | [お問い合わせ](#) | [ご感想](#) |

Copyright © Fiduciary and Independent Wealth Advisors, NPO
All rights reserved.



FIWA®マンスリー・セミナー講演より
ハッピー・マネー®教室
中高生のためのお金、仕事、投資、生き方

講演：岡本 和久
レポーター：赤堀 薫里

毎年、開催してきているハッピー・マネー®教室も9回目を迎えることができました。コロナ禍でオンライン開催でしたが、たくさんの方々にご参加いただき、また、中高生ということもあってZoomでの講演も何の抵抗もなかったようです。今回のプログラムは以下のようなものでした。

(このハッピー・マネー®教室の動画はみなさまに視聴料 500 円でご覧いただけます。
ご希望の方は以下よりお申込みください)

<https://happymoney.stores.jp/items/611b26768696c72e48b88256>



- 第一部 「私が人生で学んできたこと」岡本講演
- 第二部 「マネー・クイズ・コーナー」四択で考えよう
- 第三部 「人生に役立つお金の話」岡本講演
- 第四部 「君の未来を考えよう！」短い作文を書こう
- 第五部 「ハッピー・マネー®ソング」を歌おう Labi(歌)

第一部は私がこれまでの人生で学んできたこと。とくに仕事ということが社会貢献であり、そのためにはプロとしての心構えが重要であることをお話ししました。

また、「みんなのため、みらいのため」になることが分かっているけれども、「絶対ムリ」と思われていることがたくさんあります。それにチャレンジして成功することがビジネスの成功につながることをお話ししました。「絶対ムリ」こそビジネス・チャンスです。

第9回ハッピー・マネー®教室
中高生のための
お金、仕事、投資、生き方のお話

毎年、夏に行っているハッピー・マネー®も今年で9年目、幼稚園に通っていたお友達も中学生です！今年は中高生のためのお金、仕事、投資、生き方などのお話をします。



- 第一部 「私が人生で学んできたこと」岡本講演
- 第二部 「マネー・クイズ・コーナー」四択で考えよう
- 第三部 「君の未来を考えよう！」短い作文を書こう
- 第四部 「人生に役立つお金の話」岡本講演
- 第五部 「ハッピー・マネー®ソング」を歌おう Labi(歌)

2021/08/15 (日) 13:00 - 15:00 オンラインで開催

参加費:500円

お申込み:右のサイトからお願いします

定員:50名

お問合せ:info@i-owa.com(1-0ウェルズ・アドバイザーズ)

QRコード





FIWA®通信「インベストラ이프」

第二部は、「四択で学ぶお金もろもろのこと」というマネー・クイズ・コーナーでした。少し紹介します。

第一問 お金ってなんだらう

1. みんなの生活を便利にするための道具
2. みんなで協力をして効率よく仕事をできるようにする道具
3. 欲しいものが出るまでとりあえず交換しておくもの
4. 他の人に見せびらかせていばるもの

お金があったら何でも欲しいものを買える。必要なものも買える。でも、もしたった一人で無人島に住んでいたら、欲しいものを作ってくれる人がいません。いくらお金をいっぱい持っても、なんの意味もありません。お金は、無人島にたった一人で生きているときは、なんの価値もないわけです。

大切なことは、お金は自分が欲しいものや必要なものと交換できるから価値があるのです。交換で必要なものや欲しいものが手に入るから「ありがたい」と思う。「ありがたい」と思うから、お金を払います。要するにお金は「感謝のしるし」です。

「ありがたい」と思うから、自分が一生懸命稼いだお金、お小遣いを一生懸命貯めたお金を相手に渡す。必要なもの、欲しいものを買う。そして大切なお金を相手に渡してあげる。お金は感謝のしるしです。お金とところはいつも一緒に、感謝の気持ちがついてまわります。

しあわせ持ちになれるハッピー・マネー®のお金の使い方は、「ためる・ゆずる・つかう・ふやす」です。これを私はハッピー・マネー®四分法と呼んでいます。これを学ぶことができるのが、ピギーちゃんの貯金箱です。

普通のぶたさんの貯金箱は、背中に穴が一つ空いていて、そこからお金を入れます。招き猫の貯金箱も同じですね。ハッピー・マネー®のピギーちゃんは、背中に穴が4つ空いています。胴体も4つの部屋に別れています。それぞれの部屋が足とつながっています。背中の穴からお金を入れると、4つに別れた部屋の下にある足からお金を取り出すわけです。

ハッピー・マネー四分法！



©2019 WFA. All Rights Reserved. 2019. 05/24/2019 13:02:10

57



FIWA®通信「インベストラ이프」

この4つの部屋に、Save (貯める) Invest (ふやす) Spend (つかう) Donate (ゆずる) と、4つの名前がついています。もらったお小遣いや、バイトしたお金を自分で4つの部屋に分けて考えて入れてみます。

お金を「つかう」に入れて欲しいものを買う。そうすると今の自分がうれしい。「ためる」というのは、今もらっているお小遣いでは値段が高くてなかなか買えないけれど、それを何ヶ月分か貯めておき、少し高価なモノを買う。少し時間軸が先に伸びます。今ではない少し先。その間、我慢をしなければならない。「ためる」というのは我慢のご褒美ということを教えてくれるのです。

「ゆずる」は、今、困っている人や、世の中のためになることにお金を使う。SDGs関連の組織に寄付するのも良いかもしれないですね。最後の『ふやす』は、今、お金を必要とする人にお金を使わせてあげて、その人が世の中のためになることにお金を使い、みんなから感謝をされて、その感謝のしるしのお金が増えて返ってくる。これが「ふやす」です。



これを使って4つに分けていくと、今の自分のためなのか、少し先の自分のためなのか、今、困っている人のためなのか、それともずっと先の自分のためなのか。そのように気持ちが今の自分だけではなくて、だんだん広がっていきます。意識の拡大といいます。空間軸と時間軸が広がっていきます。

次は第二問目です。

第二問 仕事をする目的はなに？

1. 安定・安心の生活をするため
2. 自分の得意なことを活かして世の中のために役立つため
3. 会社で偉くなり部下にいはるため
4. 月給の高い会社に転職するため

みなさんに回答を選んでいただいたところで、私から解説をしました。

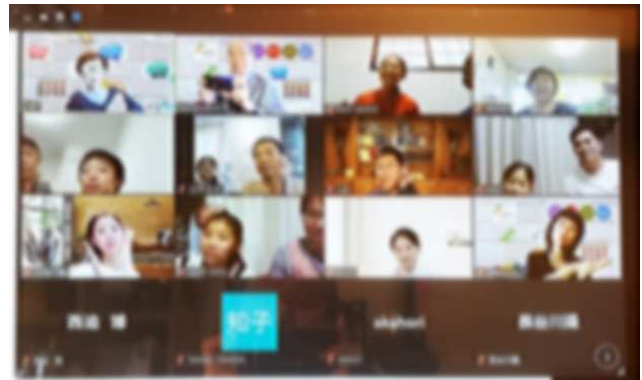
絶対的に正しい答えはありません。人によって働く目的は違いますからね。「これは○」とか、「これは×」ということではなくて、いろいろな選択肢があるということに慣れてほしいのです。「みんな△」ということかもしれません。



FIWA®通信「インベストラ이프」

人生にはいろいろな選択肢があります。どれが正解かは事前には分からないのです。しかし、自分の判断基準で選んだ答えを行動によって正解にしていくことができるかどうかということが大切なのです。私は、その判断基準は「みんなのため、みらいのため」になるかどうかだと思っています。だいたい「自分のため、今のため」に都合のよい選択肢はうまくいかないものです。

自分の選んだ選択肢が成功するかどうかはすべて自分の努力の結果であって、これをやっていたら絶対安全、大丈夫ということは世の中にはありません。そういうものにはみんなが飛びつくから、ありがたいという効果がなくなっている。とにかく重要なことは、選択肢は一つではないということ。いろいろな選択肢があるということです。



みんなが社会にでて仕事をするとき、また活動をするときによく考えてほしいのは、それが、今の自分のためなのか、それともみんなのためなのかということです。周りの人が、「絶対無理！」だと思っても「みんなのため、未来のため、理屈にあっている」ことであれば時間はかかっても努力を続けていれば必ず実現します。

第3問は、「今の金利を0.02%だとした場合、1万円の預金が倍になるには、いつ頃から預金をしていればいいでしょうか」、第4問目は「投資ってなんだろう?」、第5問目は、「寄付についてどう思う」という質問に選択肢の中から回答を選んでもらいました。その後、わかりやすく解説し、クイズを通じてより深くお金について考え、かつ楽しく学べる場となりました。

ご参加いただいた皆様からのコメントの一部をご紹介します

- 「倫理観は大切ですね。お客様のために！周りの人を笑顔にしていって！岡本先生、ありがとうございます。みんなのために、未来のために、合理的に。心に響きました」
- 「お金は感謝のしるし！お金は世の中を感謝の気持ちと一緒に回っている！人に感謝されると稼ぐことができる。たのしくもうける。」
- 「正しい努力、人が喜ぶ！笑顔が自分の笑顔になる！」
- 「苦しい失敗、僕もたくさんあります。たくさん失敗した分、成功もあります。」
- 「成功は気持ちいいけれど、失敗は成功以上に考え悩み、次を考えるから、本当に学びが多いです。大人も子どもも一緒ですね。」…



知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸

末崎 孝幸氏

1945 年生まれ。1968 年一橋大学商学部卒業、同年日興証券入社。調査部門、資産運用部門などを経て、日興アセットマネジメント執行役員(調査本部長)を務める。2004 年に退職。Facebook 上での氏のトリビア投稿は好評を博している。



JK ローリングは生活保護を受けていた。

「ハリー・ポッターと賢者の石」が発売された 1997 年以前、作者の JK ローリング(1997 年当時 32 歳)は苦労の連続だった。

彼女は 25 歳までに 2 つの小説を書いていたが日の目を見ることはなかった。1992 年に結婚し、翌年女兒を産むがその年に離婚する。そして 1993 年 12 月に生活保護を申請し、受理されたほか、友人からも借金をするなど苦しい生活が続いた。そして貧困と心労のためうつ病になり、「自殺を考えた」ことがあるとエディンバラ大学の学生誌に明かしている。



こうした状況の中で、「賢者の石」を書き続け 1995 年に原稿は完成する。出版社に送るが、最初は断りの手紙と一緒に送り返されたという。そしてクリストファー・リトルと著作権エージェンシーを結び、原稿は 12 の出版社に提出されたものの、あまりにも長編であったために出版する会社は現れなかった。

しかし、子供向け書籍の出版に取り組んでいたブルームズベリー社が出版することになり、徐々に売り上げが増え、「ネスレ・スマーティーズ賞」などの文学賞を受賞してからは、多数の外国語に訳され世界的なベストセラーになったのである。

写真は JK ローリング(Wikipedia より)





世界最古の会社、金剛組(1443 年前に創業)

世界最古の木造建築は法隆寺だが、世界最古の会社は大阪市四天王寺に本社がある金剛組である。578 年聖徳太子が百済から招いた 3 人の宮大工のうちの 1 人である金剛重光氏によって創業され、長く四天王寺お抱えの宮大工を続けてきた。

神社仏閣建築の設計・施工や文化財建造物の復元や修理等が主業務だが、近年神社にもコンクリート建築が増えたため、経営危機に見舞われ 2005 年には高松建設の子会社となり、現在も宮大工の業務を続けている。

雲外蒼天

「雲外蒼天」とは困難を乗り越え、努力して克服すれば快い青空が望めるという意味の四字熟語だ。30 年ほど前、経営者が座右の銘とする言葉として時折取り上げられていた言葉だが、このほど久しぶりにこの言葉を見かけた。

将棋の藤井聡太棋聖が、7 月に渡辺明名人の挑戦を受けた棋聖戦において 3 勝 0 敗の成績で初防衛に成功したが、それを記念してスポンサー企業の 1 社である産経新聞社が藤井棋聖の揮毫入り扇子を販売することになった。その扇子に藤井棋聖の揮毫する言葉が「雲外蒼天」だという。発売は 10 月下旬以降、価格は 2970 円(税込み)。

揮毫は「雲外蒼天」 藤井聡太棋聖の揮毫入り扇子
予約受付中
sankei.com/article/202108...

藤井棋聖が選んだ言葉は「雲外蒼天」(うんがいそくてん)。「困難や試練(雲)を乗り越えた先には青い空が広がっている」という意味の四文字熟語で、並々ならぬ決意が込められています



揮毫は「雲外蒼天」 藤井棋聖の揮毫入り扇子 予約受付中
sankei.com

青空の下の「下」は「した」か「もと」か？

下という字は、ある基準があって、それより「上」があり、その対として「下」がある場合は「した」と読む(屋根の下、机の下など)。一方、上に広がるものに隠れる範囲を指す場合は「下」を「もと」と読む。すなわち、対になる「上」には明確な範囲がないのである。

「青空の下」の「青空」は広く続いている大空のことであり、はっきりとした範囲があるわけではな



FIWA®通信「インベストラ이프」

い。よって、「青空の下」の「下」には対になる上が存在していないため「もと」と読むのが正しいということになる。

追記:「下」を「もと」と読む例は、「法の下(もと)の平等」「白日の下(もと)にさらされる」などがある。

破天荒

「破天荒」はメディアなどで頻繁に誤用されている言葉である。「天荒」とは荒れて雑草などがはびこる天地未開の土地のこと。「破天荒」は中国・唐の時代、最難関である科挙(官吏の採用試験)の合格者が一人も出なかったために人々に「天荒」と呼ばれていた荊州から劉蛻(りゅうぜい)という合格者が初めて出た。それを「天荒を破った」と言われたという故事による。ここから、今までだれもなし得なかった事を成しとげるという意味になったのである。

従って「破天荒」とは前人未到の偉業という意味が正しく、豪快で大胆な、または型破りな、という意味ではない。

先月将棋の藤井聡太二冠(王位・棋聖)が、豊島将之叡王を破って、叡王のタイトルを奪取。19歳1か月での三冠達成は1993年1月に22歳3か月で達成した羽生善治九段の年齢を大幅に更新した。まさに藤井三冠の偉業達成こそ「破天荒」という言葉を使うにふさわしいといえよう。



72 の癒しの語録

寄稿：岡本 和久

短い言葉が我々の思考形態を大きく変えたり刺激を与えたりしてくれることがよくあります。私にとってもそうでした。今回は私の 50 年にわたる証券人生、社会人人生で出会った癒しの言葉たちを紹介します。メンターと呼べる方々から教えていただいた言葉、そして、天から私の心に降ってきた言葉たちです。

お金は感謝のしるし	株式を買うということは 株主資本を買うということ	将来の自分はいまの 自分が支える
はたらくとは「はた」を「らく」に すること	資産と利益の残りものに「福」 がある	今月の給料は今の生活費 と退職後の生活費の分
仕事とは世の中に「仕」える 「事」	株式は増「価」証券	長期資産運用の目的は 「購買力の維持+アルファ」
六つの富：お金、健康、家族 (愛する存在)、友人、趣味、 社会貢献	分散、分散、分散、分散	就労中は全世界の株式 インデックスファンドを積み立 てる
「ためる、つかう、ゆずる、ふ やす」のハッピー・マネー®四 分法で意識の時空が広がる	分散投資は意識の空間軸、 長期投資は時間軸の拡大	長期的には世界株のリターン は世界の名目 GDP 成長率並 み
おカネは人とのご縁を 気付かせてくれる	一「株」の苗にたくさんの実が なる	退職金は国内債券ファンド に投資をする
投資とは人生を考えること	理論的に正しく実証尾的に 有効なことを行うのが投資の 王道	退職後の引出額は 前期末時価残高÷余命年数
お金持ちより「しあわせ持ち」	個別銘柄選択で大切なのは 「利益の質」	相場観、銘柄選択、経済予 測、投資理論不要





FIWA®通信「インベストラ이프」

猫型投資家はもうからない	投資成功のためのマントラは「ノーフリーランチ」	あなたの生活を支えている全世界の企業のオーナーになる
価値と価格の違いを知る	リターンはコントロールできない。リスク、コスト、資産配分はコントロールできる	長く社会に愛される企業は良い企業である
価格変動を当てるのではなく受け入れる	長期と分散は併せて一本！	株価を買うな、企業を買え
株価は見ていても上がるわけではない	複利は福利、不・苦利もあるので注意	良い企業とは良質の利益が永く維持されている企業
株価は影 欲望と恐怖の光で影は変わる	サブロクの法則：3.6%の利率で36年複利運用をすると資産が3.6倍になる	利他のリターン
株式市場では最大多数の人に都合の割ることが起こる	投信で最も大切なのはその投資哲学と投資手法が揺らがないこと	超長期投資は一生では短すぎる
流通市場はマイナス・サムゲーム	長期投資の長旅では三つの魔が登場する、無知、恐怖、欲望	投資は投「志」
株式投資は馬券を買うのではなく馬主になること	のこぎりのギザギザで儲けるのではなくのこぎりの傾きで儲ける	配当金を受け取ったら社長にお礼の手紙を出そう

資産運用はシンプルに、ライフもシンプルを心がけよ！	「和」とはダイバーシティ(分散)とハーモニー(バランス)	勤儉譲(自譲・他譲) (二宮尊徳翁)
「学び」は自分の人的資産形成、「投資」はトップ・ブレインの頭脳活用	知足	福を呼ぶ開眉仰月口(道教の教え)
日々の株価の動きは海面の荒波 深海の潮流に投資をすればよい	積小為大	上げてよし 下がってよしの株価かな(竹田和平翁)



FIWA®通信「インベストラ이프」

プロの三条件は知識、経験、倫理観	もったいない	投資成功の三原則: 雑事を離れる、富を分かち合う、静修 (テンブルトン卿)
資産運用は歯磨きのように	長期投資は永代投資	道端の金貨は必ず誰かが見つけだし捨うだろう (ローゼンワルド翁)
急がない、欲張らない、争わない、考えすぎない	Buy & Forget !	We do well by doing good (Fred Grauer)
Get rich slowly	生活者は CEO	Be a peace maker! (高橋弘明先生)
みんなのため、みらいのために良いことで合理的なことは実現する	「新」三方よし 命よし、地球よし、未来よし	経済とは最小の行動で最大を達成すること (Maharishi Mahesh Yogi)



FIWA®代表理事リレー投稿

—映画で学ぶお金と投資の知恵— 『マネー・ショート華麗なる大逆転』を観て



寄稿：FIWA®協会
副理事長 原田 武嗣

先日、日本 CFA 協会の読書会（CFA JAPAN BOOK CLUB）で、2015 年制作のアメリカ映画『マネー・ショート華麗なる大逆転』を観て、そこで得た学びを参加者の間で意見交換する機会がありました。処女作『ライアーズ・ポーカー』がベストセラーとなったノンフィクション作家マイケル・ルイス原作の『世紀の空売り 世界経済の破綻に賭けた男たち』を映画化したもので、ブラッド・ピットが代表を務めるプラン B エンターテインメントが製作を担当、ブラッド・ピット自身も出演している映画です。アカデミー賞他数々の賞を受賞し、娯楽映画としても面白ので、本稿読者の中にもご覧になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか？



ストーリーは、2008 年 9 月のアメリカ大手投資銀行リーマン・ブラザーズの破綻とそこから派生した世界的な金融危機、いわゆる「リーマン・ショック」に至る 2000 年代のアメリカを時代背景としています。この時期に、住宅バブルが進行する中で、サブプライム住宅ローン債権を組み入れた複雑な金融商品を多くの投資家が買い漁りました。その中でいち早くバブルの崩壊の予兆に気づき、これら金融商品の空売りにより、ウォール街を出し抜いて、巨額の利益を上げた四人の人物を中心にストーリーは展開します。

この四人とは、ヘビーメタル好きで、ドラムを叩くのが好き、常に T シャツに短パンを着て、裸足の元神経科医で変わり者の職業投資家のマイケル・バーリ、冷徹で自己中心的なドイツ銀行の行員ジャレド・ベネット、兄の自殺をきっかけに普通の人々からお金を吸い上げる強欲な銀行に怒りを





FIWA®通信「インベストラ이프」

露わにするヘッジ・ファンドの運営者マーク・バウム、そして元辣腕トレーダーでブラッド・ピット演じるベン・リカートです。

物語は、バーリが住宅ブームが続いているさなかに、詳細なデータ分析を行い、返済見込みのないサブプライム・ローン債権を組み込んだ金融商品が、近い将来、債務不履行に陥って、紙屑同然の価値になることを確信するところから始まります。そこでバーリは、その時に、逆に莫大な利益をもたらすクレジット・デフォルト・スワップ(CDS)という保険商品を住宅ブームの永続を信じて疑わない大手投資銀行に大量に組成させて買い付けます。ヘッジ・ファンドの経営責任者マークもバーリの戦略を察知した銀行家ジャレドの自信に満ちた説得を受け、部下や同僚が及び腰の中、CDS を買い付けます。

ベンは知り合いの若い二人の投資家が、同様の取引でチャンスを掴むのを助けます。この四人の戦略は、ウォール街の大半の大手投資銀行家に嘲笑されました。四人が当初想定した以上の時間はかかりますが、大手投資銀行、ベアースタンズ、リーマン・ブラザーズの破綻等をきっかけに、世紀の空売り戦略は奏功します。

主な登場人物はプロの投資家や投資銀行家で、場所も時代背景も異なるため、日本の一般の生活者が生活感覚で理解することは難しいけれど、生活者がお金と付き合う上で、投資や金融の世界がどのような仕組みで動いているかを知ることができる示唆に富む映画です。

日本 CFA 協会の読書会では、日本の 1980 年代の不動産バブルや最近の中国の不動産バブルの行方、特に中国不動産大手「恒大集団」の破綻危機の行方などバブルの経済的側面の議論も行われましたが、バブルの倫理的側面(バブル生成の過程での投資銀行・金融機関等の供給者の倫理と需要者である投資家・金融の利用者等の倫理)について意見交換が行われました。

以下は、この勉強会での意見交換の結果をそのままとめたものではありませんが、筆者が、読書会での意見交換を通して感じたことを含めて、生活者がお金と付き合う上で、肝に銘じたいポイントをまとめたものです。

- 自分が理解できない金融商品には投資しないこと(複雑で理解できないものには有り難みがあるとは決して思わないこと。「ウォール街(商品供給者)はややこしい言葉を好む」)
- 永遠に極端に高いリターンは続かないことを肝に銘ずる(調子に乗ってブームを追いかけない。バブルはいつか弾ける。)
- 極端に高いリターンと安全性は矛盾する(通常得られるリターンを大きく上回るリターンには猜疑的に接する)



FIWA®通信「インベストラ이프」

- リスクとリターンの関係をきっちりと点検する(自分自身で調べる労をいとわず、また、商品供給者に「どうして高いリターンが得られるのですか?」、「どのようなリスクがあるのですか?」と質問して、納得できない場合は投資しない)
- 購入・売却時にかかるコストを確認する。また、売却したいときに簡単に売却できるかの確認も重要
- 商品供給者が何故、自分にその商品を勧めるのか理由を確認する(商品供給者に入る収入を聞いてみる勇気も必要。こうすることで、売り手は買い手に変な売り方はできないと身を引き締める)

以上は投資の場合だけでなく、一般に金融商品・サービスを利用する場合すべてに当てはまります。



岡本和久の「お金と心チャンネル」より 短期投資はなぜ儲からないのか

寄稿：岡本 和久

YouTube の「岡本和久のお金と心チャンネル」に四回連続で「短期投資はなぜ儲からないのか」について要点を整理しておきました。

第一回 <https://youtu.be/YBBM7ysU1jI>

メイン・テーマ：株価は影



第二回 <https://youtu.be/ouROJTHpePI>

メイン・テーマ：短期投資はマイナスサム・ゲーム



第三回 <https://youtu.be/wAeBPnt1I-0>

メイン・テーマ：今の株価は強気でも弱気でもない



次回は「なぜ ROE (株主資本利益率) が大切なのか」というお話を四回に渡っていたします。



「投資」への期待と不安とは!?

「貯蓄から投資へ」の流れがようやく加速し始めたと思った矢先にサブプライム問題が起り、その影響がじわじわと日本にもおよんできた。「100年に一度の金融危機」といわれている事態を、一般生活者はどう乗り越えたらよいのか。数々の取材をされてきた日本経済新聞社記者の田村氏にお話を伺った（この座談会は2008年12月11日に行われた）。

ゲスト：田村正之氏

編集委員：岡本和久（司会）、澤上篤人、菱川精記、村山甲三郎、島田知保



●田村正之氏プロフィール

1961年生まれ。日本経済新聞社社会部、証券部、日経マネー副編集長などを経て、現在は生活経済部デスク。著書に分散投資の効果を検証した『月光! マネー学』（日本経済新聞出版社）、共著に『日本会社原論5』（岩波書店）、『株主の反乱』（日本経済新聞社）などがある。また、田村優之の筆名で小説を執筆。『ゆらゆらと浮かんで消えていく王国に』（TBS プリタニカ）で開高健賞受賞。近著に日本国債のアナリストを主人公とした経済・青春小説『夏之光』（ポプラ社）があり、ファイナンシャルプランナーの資格も併せ持つ。

100年に一度の金融危機はチャンス? それとも交通事故?

岡本 今日日本経済新聞の生活部でデスクをされている田村さんにお越しいただきました。田村さんは記者という立場でいろいろな取材をされているので、一般生活者が持っているいろんな疑問などもご存じのことだと思います。みんながどんなことをしてるのか、どんなことを不安に思っているのか、あるいは投資家がどんなことを考えているのか、日経新聞社内の論調なども併せてお話いただけますでしょうか。

田村 投資家の方にアンケートをしたり直接お話を聞くこともあるんですが、今回の金融危機で今まで投資の“セオリー”といわれてきたものが本当に正しかったのかという意見が社内に出ています。インフレへの対応として、資産

形成において株が有効だとか、日本の力が衰えているから外貨投資が必要だとか、いろんなセオリーがありました。でも、そもそも「貯蓄から投資へ」が正しかったのかどうかも疑われているんですね。

新聞では「いつまでも定期預金に置いていてもしょうがない。株にもっと運用させなくちゃいけない」みたいなことをいつか聞いた。私の『月光! マネー学』にも書いたのですが、ちゃんと分散投資をしていれば資産は増える。でも、読者からいただいた声で、「結果的に今回の金融危機で預貯金に置いていた人のほうが、今の時点で比べてみれば株式投資をやっていた人より良かったんじゃないか」というのもありました。それで皆さんに今回の金融危機から何を学べばよいのかをお聞きしたいんですが。

岡本 そこは極めて重要なポイントですね。



菱川 今、100年に一度のチャンスと危機が一緒に来ているわけですね。だから、これから投資を始める人にとっては100年に一度の絶好のチャンスだけれど、今までに買った人、投資した人にとっては100年に一度の交通事故に遭ったみたいな感じですよ。

田村 そうですよ。

菱川 誰を対象に話をするかによって、表と裏、光と影となるでしょうね。見る角度によって違ってきます。

岡本 この時点で勝負がついたと判断するのは大きな間違いだと思いますね。長期投資の場合、今判断するんじゃなくて20年先をどう見るかということであって、その20年の間に何をしていくかが一番大事なんです。

村山 通過点ですよ。

澤上 本格的な長期投資はまだ始まったばかり。たまたま金融危機がドカッと襲ってしまったので、ちょっとずっこけただけのことでしょう。

岡本 長いマラソンの途中でつまずいたくらいの感じですね。

長期投資と分散投資

田村 たとえば4資産、日本株、

日本債券、外国株、外国債券などに均等に投資して10年間持ち続けられれば、どの年に開始するかによって若干違いますが、今までは1年当たり5~10%位の利回りが出ていました。過去30年の平均ではコスト控除前で年間6.6%位です。そういうふうに分散と長期を組み合わせれば、ある程度リスクが少なくして着実に資産を増やせるというのがセオリーでした。

でも今年の10月の時点で調べたところガクンと下がっていたんです。10月まで4資産分散で10年持っていたても、年間利回りは1.2%位にしかならないという結果になりました。ですから、今回の金融危機では、今までのセオリーだった分散と長期の組み合わせが崩れたんじゃないかと思いましたね。もちろん、今の時点だけで判断してはいけないと思うんですが。

岡本 来年末で日本のマーケットは1989年末のピークをつけてからちょうど20年たつんですよ。20年保有してマイナスのリターンになったケースは今までにないです。

また、今回の大きな特徴というのは、世界的な問題であることだと思います。この難しい期間を通

り過ぎた後で判断すべきことでしょう。少なくとも「分散+長期」の効果には合理性もあるし、長い歴史の風雪に耐えています。

田村 そうですね。

澤上 これは二つに分ける必要があるよね。一つは今までのセオリーとは違う数字が出たということ。もう一つは、その数字が出た根拠です。というのは、世界全体がガタッと落ちたせいなんですよ。

現時点の現象だけをとらえて、下手に動くと、リカバリに入ってきたときに慌てると思うよ。

田村 たとえば一般的に、株が下がれば債券が上がりますよね。しかし、今回は株と債券と一緒に売られる場面さえありました。これはあくまでも一時的なものなんですか。

澤上 条件反射的な反発なんて、一時的なことですよ。

岡本 流動性のなかにたまっていた水が、水面が下がった分だけ全体が下がったんでしょうね。

澤上 かさ上げしてた部分が下がっただけ。

菱川 89年のバブルのピーク時には、小錦がお風呂に入っているようだといわれました。今ですと、



岡本 和久

ヘッジファンドが小錦みたいで、小錦がお風呂から出てしまうと水かさが減りますからね。

村山 水の量は変わってないんですよ。だから本来の価値も変わってない。

岡本 ただ問題は実体としての真水の量は変わってなくても、信用という部分で小錦ができたことですね。

澤上 世界の金融市場で価格体系が相当にかさ上げしてた。信用創造によるバーチャルな資金で買えば、いくらだって上がる。実物の買いだけであつたら限界あるけれど。債券だろうが株価だろうが結構かさ上げしてて、それがガサッと落ちたわけなんだよね。

岡本 あらゆるバブルの最後ってそういうものですよ。日本株のバブルやITバブルのときもそうでした。でも、今までの投資で正しいと思われてきたことが全部有効じゃなくなるかということ、そんなことはないと思いますね。

どういう気持ちで投資をするのか？

岡本 今回「100年に一度の金融危機」といわれながらも、打撃を受けた額というのは個人の場合は

少ないんじゃないですか。

田村 株に集中投資していた人はやはり大きな損害を受けていますが、債券を含めてきちんと分散していた人の痛手は相対的には少ないです。「100年に一度の危機」という意味で、米国の大恐慌時代の状況を調べてみたんですが、米国株は1929年のピークから9割弱も下落して、戻るのに配当込みの数字でも15年かかりました。でも債券との50%ずつの分散投資なら下落率は50%にとどまり、約6年で回復しているんです。

分散であれば下がるピッチも緩いけれど、戻るピッチも緩いんじゃないかという疑問が出るかもしれないんですが。下がる段階で債券の利息などを再投資して行って株と債券の比率をリバランスしていく。すると株の下落過程で株を買い増すことになるので、株価が戻ると回復ピッチが早くなるわけです。

岡本 特にリバランスを入れていくと、安いところを買っていくことになりますから。

田村 そうですよ。

岡本 安いところを買って、高いところを売ることになる。

村山 逆にいうと行動しなきゃダメだってことですよ。だけど、ここまで下がっちゃうとリバランスしてもう1回株を買うのが怖くなったならリターンを取り損ねることになりますよね。いずれにせよ行動しなくちゃいけないんです。

菱川 最悪のパターンは全部売却して現金にして、そのあとでインフレが来るということですね。



澤上 篤人

澤上 最悪だし、それはもう悲劇だろうね。

岡本 売った後に絶妙なタイミングで買いに戻ればいいんだろうけど。これはまずムリ。

村山 実際、下がったときに売る人というのはうちのファンドでもあったんですけど、何で売るかという心の安定がほしいからなんです。不安だから売るんですよ。下がるからとかじゃなくて。

確かに下がっているのも嫌なんですけど、心の不安を解消したいわけなんです。だから売る。でも、売っても別に何もしないんですよ。そういう人は。夜ゆっくり眠りたいんです。だから逆に言うと、買えないんですよ。

澤上 買えないんだよね。

村山 次に下がったときに買おうと思って売るんだったらいいんだけど、そうじゃなくてじーっとしているだけなんです。

菱川 “相場感”だけで売っているなら、また買えるかもしれないですけどね。

澤上 そういう人に限って、次の上昇トレンドに出遅れて、かなり高いところで高値買いをするんだろうね。

村山 今度は逆に持っていないことで心の安定がなくなって不安になる



菱川 精記

でしょ。だから高くなったときに、また買ってしまふんですね。

澤上 心の安定を求めてね。

岡本 行動ファイナンスがいうように同じ1割下がったときの心の苦しみの量と、1割上がったときの心の喜びの量を比べたら苦しみのほうがはるかに大きいんですね。

だから結局何が起きているかという、利食いは早く損切りはゆっくりということなんですね。ある意味理論通り動いているという部分もあるんです。

澤上 逆のセオリーだね(笑)。

田村 そういう意味で、マネー雑誌などに「損切りが大事だ」とか「ある程度のところで損切りすると傷が浅くて、また次に買いにいける」といったセオリーめいたものがよく書かれています。でも皆さんのご意見を伺うと損切りをやって買う時期のタイミングを逃してしまうとどちらかといえばマイナスだと考えられるわけですね。

菱川 損切りをした銘柄はいいんですが、次にまた買ったら結局同じなんですよ。損切りやっても買わなければいいんですけどね。

たとえばAという銘柄を損切りして、次にまたBという銘柄を買ったとなると、今は相場が下

がっていますから株をやめない限り損切りじゃないんですね。株式投資の損切りをやらないと、投資自体をやめないといけないというのが今回の特徴ですね。

岡本 特に資産形成で少しずつお金を貯めている人、毎月の給料の一部を投資に回している人、そういう人が投資を一時的にでもやめるというのはものすごくもったいない気がしますね。

澤上 辛いよね。本当にもったいない。がんばってもらいたいね。

岡本 これから始める人は、さっき菱川さんが言ったように100年に一度のチャンスですよ。それから次に幸せな人というのは、積立をずっとやっている人。それは今、塊を作っていけるわけですから。

村山 セミナーでも、「買いたいですけど、お金がないです」とよく言われます。それで「定期積立、定額積立とかやってないの?」と聞くと、やっているんですね。だから本当は買っているんですね。けどももっと買いたいたけど、買えないからお金がないというんですね。

岡本 全額突っ込んで買ってそれが半分になってしまった。さて、どうしようかってなりますよね。株価だけを追っかけて買って、それで損したならその人は間違っただけですよ。だからもう、自分で腹を決めて売るか持つか決めなきゃいけないんです。

けど、この会社が好きだ、応援したいと思って買ったのならそれはそのまま持っていればいいんだと思いますね。このへんですご

く大きな違いが人によってあるということなんです。ついつい他人の言うことを信じて買ってしまっただけとか、この株価は動きが面白そうだからとりあえずつぎ込んだとか。そういう人と、本当に会社を応援しようと思って買っている人との大きな違いですね。

澤上 応援するっていう気持ちがあるから、もうここは我慢してもらって。我慢も忍耐も長期投資のひとつだから。

菱川 資産があって生活に困らない人であればそんなにシワよせはこないけど、生活ができなくなるくらいにやられちゃうとまずいですよね。

田村 退職してから株の比率を増やして、今回かなりやられちゃって老後のお金が足りなくなったという人が結構います。そう考えると、退職後は安全資産を増やしておくべきだったということ。セオリーは、今回の金融危機で改めて認識すべきでしょうね。

岡本 要するに、自分の現在の年齢から考えて何歳まで生きるんだろうとか、その間いくらお金が必要なんだろうとか、経済基盤を考えないといけないですね。

田村 ええ、そうですね。

岡本 もちろん、そこでリスクを取るというのもいいんだけど、比率も問題なんですよ。たとえば5000万円あったとします。65歳のときに90歳くらいまで生きると思った人が、全部そのお金を株につぎ込んだらまずいでしょうね。外国株とか国内株とかも含めて全体の半分にするとか4割にするとか、比率やバランスの問題だと思うんです。



村山甲三郎

ただ単にブラジルが面白そうだからとか、ロシアが良さそうだからとかって株を買うというのは問題だと思いますね。また、環境関連、資源関連が大事だといわれているから、それだけを買うというのもいかなものか、ということなんです。やっぱり資産クラスのなかで分散という部分が大事だという気がしますね。

澤上 今の岡本さんのお話のように、きちんとやっていたらいいんです。逆に、いい加減にやっていたら、今ここで下手な判断をするとまた怖い。

しっかり老後設計の計算をして、勉強をして投資方針を決めないといけない。

外貨を持たないリスクというのは本当にあるのか

田村 このところずっと日本の将来が暗いみたいな話があって、だから外貨を持たないリスクというのがあるといわれます。私たちメディアにもこういった記事をさんざん書いたりしてきましたが、FXも含めてガクンとききましたよね。それでお聞きしたいんですが、個人でどれくらい外貨投資をすべきか、そしてその手法はどうしたらいいのでしょうか。

岡本 私も時々聞かれたりするんですが、海外のマーケット、日本のマーケットの相関性が非常に高まってきている。だからあえて国際分散投資をする必要はないのではないかとね。

経済はグローバル化してきていますから、世界のどの市場でも日本企業の全部が勝ち組になるわけじゃない。海外企業が勝ち組になるところもあるだろうし、BRICs諸国が勝ち組になる産業もあるわけですよ。

だからむしろ逆に国際分散投資をしていることによって幅広く買っておけば、勝ち組になるところを全部カバーできるわけです。逆にいうと国と国のボーダーラインが薄くなってきているわけだから、むしろ国ごとの区別というよりも、たとえば産業ごとの分類などが大きな役割を持つてくるんじゃないでしょうか。

グローバル化という動きによって国の動きも似てくるから、もう外国株投資はいらないという結論にはならないと思いますね。

澤上 特にこういう時期というのは似てきますね。ただ、単純に外貨でどうのこうのというのは、やめたほうがいいと思いますね。

なぜかというと、経済や企業活動はどんどんグローバル化している。ところが輸出入統計とか各国の金利政策とか、金融財政事情とかみんな一国単位でしょ。それでどれだけ富の蓄積を把握できるかですよ。

逆に企業は世界に進出してどんどんグローバル化してるから、各国の景気変動のマッチングやら為替の相殺とか、いろいろやっているわ



島田 知保

けです。経済の現場からみると、企業のほうがもっとダイナミックに動いている。これをしっかり追っかけるほうが賢いわけです。そういった経済ダイナミズムを無視して、ただ通貨の変動でうまく儲けようとするのは難しいと思うよ。

岡本 為替はやっぱり怖いですよ。株というのは実体価値の裏付けがあるけど、為替というのはそうじゃないですからね。

澤上 企業に投資して、その結果として為替が絡んでくるというのはいいんだけどね。為替から入ると怖いつてこと。

菱川 外貨建て投資っていびつで、国内の金利がゼロ金利に近いので、金利の高いところにみんないくんですよ。

田村 グロソブのような毎月分配型の投信は、新聞などで毎月分配は複利効果が働かないし税金面でも損です。一言で、利益確定の意味もあって、下がり局面のときは先に分配を受け取っている分、損害が小さくなる。こうした両面をどう考えるかということだと思いますね。

島田 今みたいになったときのことを考えると、利益を全部再投資するよりは毎月など利益を確定し

ているほうがお年寄りにとっては安心なのでしょう。

ある程度資金を持っていて、毎月分配型を買うような人たちはさわかみファンドを買う人とは人種が違うんですね。そういう人たちは、毎月分配をもらえることが楽しみだと思っているんですね。

田村 結構わかってやっている人が多いんですか？

島田 そうですね。グロソブの場合はかなりいますね。

村山 グロソブのやり方に疑問なのは、将来自分の後の世代とか、3世代、4世代先へ資産を残すためにやるのが資産運用でしょ。でも、自分が次世代へ渡す資産はどうなってもいいから、今のキャッシュフローが欲しいというのは資産運用じゃないですよ。

菱川 隔月で年金もらって、毎月分配金という小遣いをもらえるのがいいんでしょうね。

世界経済のなかにおける 日本は今後どうなっていくか

田村 ちょっと株とは関係ないんですが、グロソブ含めランド債とかトルコ債とか、高金利な通貨ってインフレ率が高い国ですよ。短期的には金利差が好感されて通貨は上がるけど、インフレ率の高い国はお金の価値が減っていつているので、いずれは通貨が暴落して、為替差損でそれまで稼いだ金利が吹き飛んでしまう。

岡本 それは要するにバランスの問題だと思うんですよ。ランドやトルコリラだって持ちたければ持っているでもいいんですけど、全

体の何%位にするかってことなんです。それが外貨資産の半分を占めるといのはあまりにリスクですよ。

菱川 ロシアとかブラジルなどは、今半分くらいになっていますよね。

村山 昔から繰り返していますよね。金利差で買って、ガクンと下がって、リスク(円高の)に気づく。

澤上 それと、日本経済が凋落するっていうのはなんかもう当たり前のように考えているところがあるけど、それもわかんないよね。

岡本 わからないですよ。

澤上 たとえば日本凋落説をいう背景の一つには、人口が減っているってことがあげられますよね。今、1億2790万人でしょ。世界で見ると人口統計10位なんです。それが2050年になると、減るといっても16位で堂々たる人口大国なんです。人口もそうだけど、産業構造とかも変わってくるだろうから、この先意外にどうなるかわからないですよ。ましてや、われわれ運用やってるでしょ。運用による富の蓄積が乗っかってくるんだから。

田村 企業も人口が伸びない国では、あまり投資しないから生産性が上がらないといっている人もいるんですが……。

澤上 それは、いまだに一国ベースの統計にこだわっているだけ。ところが企業ベースでは、もう完全にグローバル化してるでしょ。本格的な長期運用をしようとしたら、グローバル化経済の成長に乗っかっていくか、それを先取りしていくような企業に投資するのが当たり前ということですよ。

いってみれば世界経済の成長を取り込むわけで、そのなかに日本企業も入っているし、長期投資のリターンも後からついてくるのです。そのリターンをどんどん使えば、国内の経済活動はいくらでも拡大します。

菱川 日本が衰退するっていう議論があるけど、そうしたら円高が説明つかないですよ。なんで今日本が強いか、円高かっていったら、やっぱり国力の話ですよ。相対的に見てアメリカ、ヨーロッパのほうに落ち込んでいるわけですから。

田村 国際収支がトントンだった73年を基準年にすると販売力平価は輸出物価で多分83円くらい、企業物価で110円くらいです。むしろ本来の状況に戻ったのかなと思う反面、今までが安すぎたのかなという気がします。

岡本 たとえば円キャリートレードによる円売りなどですね。

澤上 あるいはゼロ金利制度とかね。

島田 それの巻き戻しみたいなものがあるんだと思いますね。

岡本 澤上さんがさっき言ったように、人口が減ったといっても約1億人いるんですから。その1億人が何らかの形でいろいろなものを消費していく。消費していくものは生産しているわけです。だから総体として見た企業の価値は増えるわけですよ。ゼロ成長でも株主価値は増えていくし、毎年毎年積み上がっていくんです。だからこの先、日本に対して悲観することはないと思いますね。

今日はお忙しいなか、ありがとうございました。

<モデルポートフォリオ:2021年9月末の運用状況>

単位: %

		トータルリターン				リスク	1万円ずつ積み立てた場合の投資額に対する騰落率			
		1ヵ月	1年	5年 (年率)	10年 (年率)		10年 (年率)	1年 12万円	5年 60万円	10年 120万円
4資産型	積極型	0.38	25.83	11.96	13.25	15.10	11.35	34.40	77.47	143.02
	成長型	0.03	16.18	8.34	9.78	10.27	7.17	22.94	50.24	99.92
	安定型	-0.33	7.10	4.65	6.23	6.05	3.18	11.94	26.69	61.31
2資産型	積極型	-2.22	28.12	13.55	14.43	16.32	11.06	39.84	85.92	173.15
	成長型	-1.66	17.89	9.79	10.90	11.72	7.12	27.33	57.14	121.16
	安定型	-1.10	8.28	5.94	7.30	7.85	3.36	15.35	32.17	75.31

* 投資にかかるコストは控除していない。積み立ては、税引き前分配金再投資。ポートフォリオは毎月リバランスをしたものとする。積み立ては計算月数分を運用したものとする。例えば1年の場合は2020年9月末に1万円投資資金を積み立て始め、2021年8月末の投資資金までとする(2021年9月末積み立て分は運用期間がないため含めていない)。
出所: イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがMorningstar Directにより作成。Morningstar Directについてのお問い合わせは、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンのお問い合わせメール (<https://www.ibbotson.co.jp/contact-us/>) まで。

ポートフォリオの資産配分比率(外貨建て資産は円換算ベース)

4資産型		国内株式: TOPIX	外国株式: MSCI KOKUSAI	国内債券: NOMURA- BPI (総合)	外国債券: FTSE WGBI (除く日本)	
		積極型	40%	40%	10%	10%
		成長型	25%	25%	25%	25%
		安定型	10%	10%	40%	40%
2資産型		世界株式: MSCI ACWI (含む日本)		世界債券: FTSE WGBI (含む日本)		
		積極型	80%	20%		
		成長型	50%	50%		
		安定型	20%	80%		

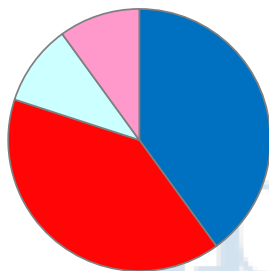
ポートフォリオは「インベストラ이프」が参考のために考案した資産配分に基づき、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがデータを算出しています。特定の資産配分による投資の推奨を行うものではありません。

「長期投資仲間」通信『インベストラ이프』のその他の記事はこちらからご覧ください。
<http://www.investlife.jp/>

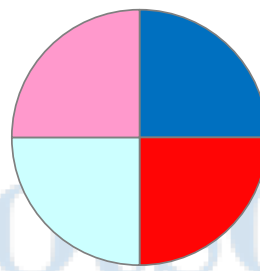
4資産型

- 国内株式: TOPIX
- 外国株式: MSCI KOKUSAI
- 国内債券: NOMURA-BPI (総合)
- 外国債券: FTSE WGBI (除く日本)

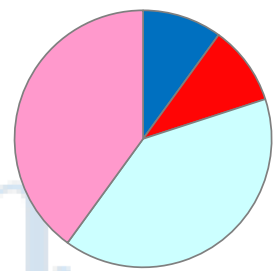
積極型



成長型



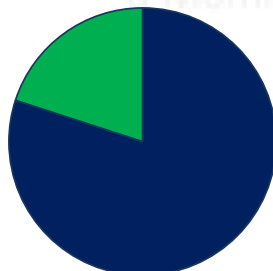
安定型



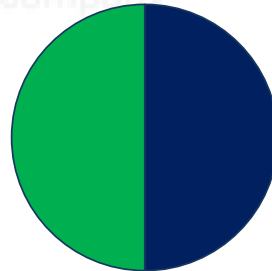
2資産型

- 世界株式: MSCI ACWI (含む日本)
- 世界債券: FTSE WGBI (含む日本)

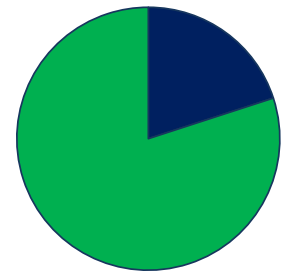
積極型



成長型



安定型



<純資産上位ファンド(毎月および隔月決算型を除く):2021年9月末の運用状況>

当資料は「インベストライフ」のために、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがデータを算出、作成しています。特定の投資信託による投資の推奨を行うものではありません。

今回順位	前回(21年6月末)順位	運用会社名	ファンド名	トータルリターン				リスク	1万円ずつ積み立てた場合の投資額に対する騰落率				1万円ずつ積み立てた場合の月末資産額				2021年9月末		イボットソン分類
				1ヵ月	1年	5年(年率)	10年(年率)		10年(年率)	1年12万円	5年60万円	10年120万円	2000年1月~261万円	1年12万円	5年60万円	10年120万円	2000年1月~261万円	純資産(億円)	
1	—	AM-One	グローバルESGハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	-3.0	17.9	—	—	—	6.0	—	—	—	12.7	—	—	—	11,384	12,408	外国株式・世界型
2	1	日興AM	グローバル・プロスペクティブ・ファンド	-7.9	26.1	—	—	—	-1.3	—	—	—	11.8	—	—	—	8,610	22,902	外国株式・世界型
3	3	ゴールドマン・S	netWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース(為替ヘッジなし)	-3.6	35.7	27.4	24.4	23.9	16.6	94.3	237.3	473.4	14.0	116.6	404.7	1496.6	7,432	25,211	外国株式・北米型
4	2	AM-One	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	-2.4	19.3	24.6	—	—	5.2	—	—	—	12.6	—	—	—	7,310	30,053	外国株式・世界型
5	6	三菱UFJ国際	eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)	-1.9	39.9	—	—	—	17.7	—	—	—	14.1	—	—	—	6,442	16,951	外国株式・北米型
6	4	三井住友トラスト	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	-2.5	32.7	—	—	—	7.7	—	—	—	12.9	—	—	—	6,145	18,441	外国株式・世界型
7	5	AM-One	投資のソムリエ	-1.1	1.8	2.7	—	—	0.8	8.1	—	—	12.1	64.8	—	—	6,126	12,316	アロケーション・リスクコントロール型
8	—	日興AM	デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド	-8.0	21.1	—	—	—	-1.9	—	—	—	11.8	—	—	—	5,660	12,699	外国株式・世界型
9	7	フィデリティ投信	フィデリティ・日本成長株・ファンド	3.4	27.9	13.9	13.9	19.6	13.9	45.2	97.2	140.0	13.7	87.1	236.6	626.3	5,090	33,891	国内株式・大型成長型
10	8	レオス	ひふみプラス	2.2	16.5	14.6	—	—	7.9	37.6	—	—	13.0	82.6	—	—	4,871	53,259	国内株式・キャッシュパラランス型
11	10	T・ロウ・プライス	ティー・ロウ・プライス 米国成長株株式ファンド	-3.8	31.2	—	—	—	13.2	—	—	—	13.6	—	—	—	4,331	15,192	外国株式・北米型
12	9	三井住友DS	グローバルAIファンド	-3.3	52.1	30.5	—	—	13.1	130.1	—	—	13.6	138.1	—	—	4,140	36,988	外国株式・世界型
13	14	アライアンス・B	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース(為替ヘッジなし)	-4.6	34.7	24.4	23.6	20.7	16.4	81.6	208.7	—	14.0	108.9	370.5	—	4,055	43,630	外国株式・北米型
14	11	日興AM	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	-3.1	37.0	20.2	—	—	11.9	65.7	—	—	13.4	99.4	—	—	4,009	10,739	外国株式・世界型
15	17	ゴールドマン・S	GSフューチャー・テクノロジー・リーダーズBコース(為替ヘッジなし)	-0.1	45.8	—	—	—	16.5	—	—	—	14.0	—	—	—	3,797	18,482	外国株式・世界型
16	19	楽天投信	楽天・全米株式インデックス・ファンド	-1.9	41.9	—	—	—	17.3	—	—	—	14.1	—	—	—	3,534	18,041	外国株式・北米型
17	13	さわかみ投信	さわかみファンド	1.3	25.6	10.6	11.5	18.7	9.8	28.1	68.7	120.1	13.2	76.9	202.5	574.4	3,512	31,900	国内株式・大型ブレンド型
18	12	日興AM	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	-3.1	37.0	20.3	—	—	11.8	66.0	—	—	13.4	99.6	—	—	3,452	24,886	外国株式・世界型
19	15	三菱UFJ国際	サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし)	-4.4	48.3	—	—	—	22.1	—	—	—	14.7	—	—	—	3,410	28,735	外国株式・世界型
20	18	ニッセイAMAM	<購入・換金手数料なし> ニッセイ外国株式インデックスファンド	-2.3	38.7	16.8	—	—	16.0	52.6	—	—	13.9	91.5	—	—	3,228	23,916	外国株式・世界型(除く日本)

対象は追加型株式投資信託のうち2021年9月末時点で1年以上の運用実績があるもの(毎月・隔月決算型、ETF・DC・SMAなど専用投資信託を除く)。

積み立ては税引き前分配金再投資、計算月数分を運用したものとす。例えば1年の場合は2020年9月末に1万円で積み立てを開始し、2021年8月末投資分までの2021年9月末における運用成果とする(2021年9月の積み立て額は入れない)。

出所: MorningstarDirectのデータを用いてイボットソン・アソシエイツ・ジャパンが作成。MorningstarDirectのお問い合わせはイボットソン・アソシエイツ・ジャパンのお問い合わせメール(<https://www.ibbotson.co.jp/contact-us/>)にてご送信ください。